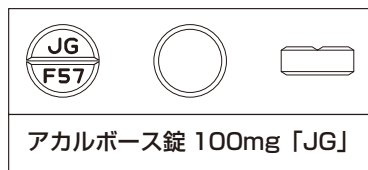
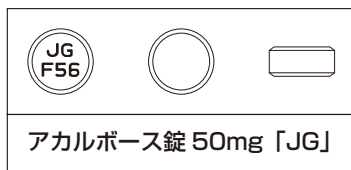


# アカルボース錠 50mg 「JG」 アカルボース錠 100mg 「JG」を服用される患者さまへ



食後の急激な血糖の上昇を改善する糖尿病の薬が処方されています。以下の点についてご注意ください。  
この注意は必ず家族や周りの方にも知らせておいてください。

## 1. 薬の服用時間について

この薬は**食事の直前にお飲みください**。ごはんやパンなどの食べ物とまざりあって効く薬ですので、**食事の直前にお飲みください**。

もし食事の直前に飲み忘れたときには、食事中にお飲みください。食後にお飲みになると効果が弱くなります。

## 2. 肝臓の機能への影響について

肝臓の機能の悪化防止には、早期発見と適切な対処が必要です。飲み始めた**最初の6ヵ月間は毎月、その後も定期的に肝機能検査**を行うことがあります。

**次の症状があらわれれば必ず主治医にご相談ください。**

- 全身がだるい
  - 食欲がない
  - 吐き気がする
  - 褐色尿
  - 皮膚や白目が黄色くなる
  - 体がかゆい
  - 発疹
  - 発熱
- など



## 3. 腹部の症状について

この薬を飲み始めたときには、**おなかが張ったり、おならの回数がふえることなどがあります**。1、2ヵ月飲み続けるうちに、このような不快な症状は減少してくることが多いのですが、症状が強い、腹痛を伴うなど特に気になる場合は主治医または薬剤師にご相談ください。

体のだるさ 皮膚や白目が黄色くなる

(裏面も必ずお読みください)

## 4. 低血糖について

### 低血糖とは

- ◆血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、急に強い異常な空腹感や、力の抜けた感じ、冷や汗、手足のふるえ、目のちらつき等が起こったり、頭が痛かったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることもあります。はなはだしい場合には、けいれんを起こしたり意識を失うこともあります。
- ◆空腹時に起こりやすく、食べ物をとると急によくなるのが特徴です。
- ◆低血糖は危険な状態ですから、もし起こったら軽いうちに治してしまわなければなりません。軽いうちはブドウ糖をとると治ります。



手足のふるえ



冷や汗・動悸

### 1) この薬を服用しているときに低血糖が起こったら

- ◆必ずブドウ糖をとってください。この薬は砂糖などの二糖類の吸収を遅らせます。ほかの糖尿病の薬で起こった低血糖には効果のある**砂糖やあめ玉はこの薬をお飲みの時には、不十分です。**
- ◆いつもブドウ糖を携帯してください。低血糖になっても、軽いうちはブドウ糖をとると治ります。日頃からブドウ糖を持ち歩き、低血糖症状があらわれたときは、すぐその場で**5～10gのブドウ糖**をとってください。携帯用ブドウ糖については、主治医または薬剤師にご相談ください。
- ◆低血糖が起こったら、早めに主治医に報告してください。

### 2) 低血糖を起こさないために

- ◆薬の飲み方は主治医の指導を正しく守ってください。
- ◆食事量を減らしたり、抜いたりしないよう食事療法はきちんと守ることが大切です。
- ◆お酒の飲み過ぎ、激しい運動などは低血糖を起こしやすくなりますので主治医の指導を正しく守ってください。

### 3) 高所作業や自動車の運転等危険を伴う機械を操作している時に、低血糖を起こすと事故につながります。特に注意してください。

## 5. その他、不快な症状が気になる場合は主治医または薬剤師にご相談ください。